

【情報提供資料】

国土交通省東北地方整備局
青森河川国道事務所

参考資料－ 2

馬淵川の減災に係る取組状況について

「馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会」の経緯

- ・平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対し、「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申され、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、**平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う**こととした。
- ・各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置し、減災のための目標を共有し、以下のハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進するものであり、**馬淵川においても平成28年10月に「馬淵川の減災に係る取組方針」を策定**した。



第2回 減災対策協議会開催状況
(平成28年10月4日)

	開催年月日	内容
第1回協議会	平成28年5月9日	・馬淵川の直轄管理区間を対象として減災対策協議会を設立 ・減災のための目標の共有
第2回協議会	平成28年10月4日	・馬淵川流域の県管理区間を追加して、「馬淵川の減災に係る取組方針」を策定
第3回協議会	平成29年5月30日（予定）	・取組状況の確認及び実施目標のフォローアップを予定

構成機関：八戸市、三戸町、南部町、青森地方气象台、青森県県土整備部、青森県危機管理局、青森河川国道事務所
※第3回協議会より、青森県管理区間の五戸町、田子町、新郷村を追加。

馬淵川の主要な洪水

昭和15年9月豪雨

平成23年9月豪雨

平成25年9月豪雨

馬淵川の洪水発生時における課題

- ・広範囲にわたる工業・商業地域を含む家屋の浸水
- ・夜間の急激な水位上昇時における情報伝達のあり方
- ・効果的な水防活動のあり方及び住民の水害に対する防災意識の低下

対応

「避難する・時間を稼ぐ・備える」ことにより「氾濫被害の最小化」を目指すことを目標として、平成32年度までに構成機関が行う減災の取組方針を平成28年10月4日に策定。

平成32年度（概ね5年）を目途に実施する取組内容

1) ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

① 住民の主体的で安全な避難行動を促すリスクコミュニケーション

■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表
- ・ 指定避難地区を越えた避難計画の策定
- ・ 指定避難地区を超える避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
- ・ 馬淵川の工業・商業地域全体での水害に備えた避難のあり方について検討を実施
- ・ わかりやすい洪水予報文への改良

■ 避難勧告等に着目したタイムライン等の作成

- ・ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及びブラッシュアップ
- ・ タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
- ・ 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
- ・ 夜間時の急激な水位上昇を想定した避難勧告・指示等のタイミングに関するルール作り・検証

② 発災時に人命と財産を守る水防活動及び排水活動

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・ 水防団同士の連絡体制の確保
- ・ 水防団や地域住民が参加する「洪水に対しリスクが高い区間」の共同点検
- ・ 関係機関が連携した水防訓練の実施
- ・ 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・ 協定業者等による水防実施体制の検討・構築

③ 水害に関する知識の向上と心構えの醸成

■ 防災教育や防災知識の普及

- ・ 水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
- ・ 水防災に関する説明会等の開催
- ・ 小・中学生を対象とした防災教育の実施
- ・ 出前講座等を活用した講習会の実施
- ・ プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ・ 水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

■ 緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・ 排水機場・樋門・水門等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画(案)を作成
- ・ 緊急排水計画(案)に基づく排水訓練の実施

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 八戸市 平成28年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成28年度の主な実施内容】

・平成28年度馬淵川・高瀬川総合水防演習

【目的】平成28年度は、青森県八戸市の馬淵川左岸河川敷を会場とし、河川の出水に備え、水防技術の向上および関係機関の連携を踏まえた水防体制の強化を図るとともに、水防に対する地域住民の理解と協力を求めることにより、水害の未然防止及び軽減に資することを目的とする。

【実施日】

平成28年5月29日（日）

【演習内容】

水防工法
情報収集訓練
東北水防技術競技会
現地対策拠点設置
応急復旧訓練
救助・救出訓練
支援物資輸送訓練
応急給食配布訓練 等

【参加人員】

約2000名



【平成29年度の主な取組み予定】

・図上訓練を予定

【目的】馬淵川洪水浸水想定計画規模（L1）を基準に、八戸市策定のタイムラインの検証及び災害対策（警戒）本部の開設・運営・情報伝達要領を訓練する。

【実施日】

平成29年7月4日（火）

【場所】

八戸市庁別館2階
B・C会議室 等

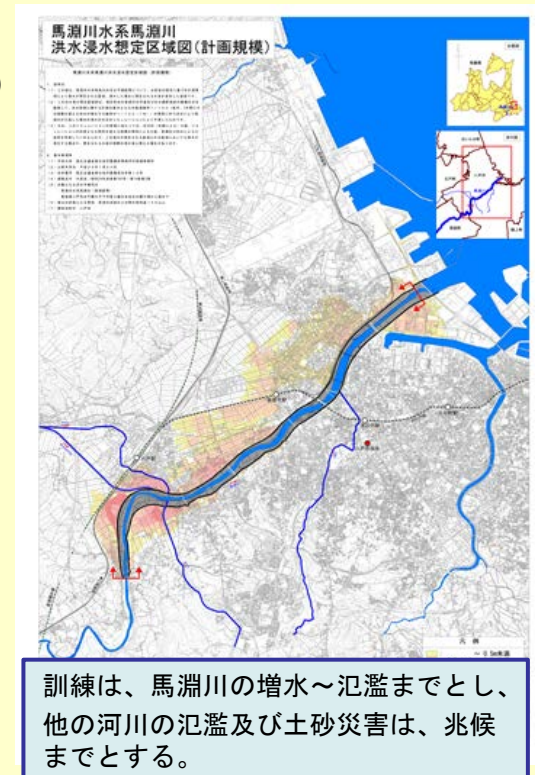
【参加団体】（予定）

青森河川国道事務所
青森地方气象台
陸上・海上自衛隊
八戸海上保安部
三八地域県民局
青森警察署
八戸消防本部
八戸圏域水道企業団
指定避難所
八戸市職員

【参加人員】

約200名

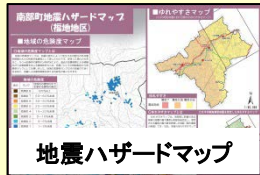
- ・訓練終了後、八戸市のタイムラインの検討及び修正
- ・情報伝達要領の検討



馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 南部町 平成28年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成28年度の主な実施内容】

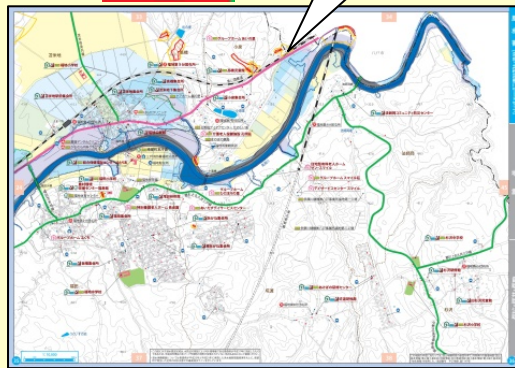
- ・洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、地震ハザードマップを統合した「南部町防災マップ」を作成し、関係機関及び町民への毎戸配布を実施。
- ・自主防災会を対象にした出前講座を実施。



統合



各種ハザードや、避難所・AED設置場所等を掲載



平成29年2月3日
自主防災会を対象にした出前講座を実施。
(共催 青森県)

【平成29年度の主な取組み予定】

- ・水防訓練等の各種訓練の実施予定。
- ・水防団協力団体の募集促進を実施予定。



平成28年5月29日 馬淵川・高瀬川水防訓練の様子

- 広報誌、ホームページ等で水防団(消防団)募集の呼びかけを行う

年度	人数(人)	前年度からの増減
平成27年度	693	—
平成28年度	692	-1
平成29年度	674	-18

※各年度4月1日現在の水防団員数